

千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会

福祉教育部会報

教育課程研究協議会(7月)

平成27年7月27日(月)に千葉県高等学校教育課程研究協議会が松戸向陽高校で行われました。午前中は、県教育庁育振興部指導課 佐々木 恵指導主事から、今後の学習指導要領についてのご指導をいただきました。また、松戸向陽高校 清水 弘恵教諭から、全国的な福祉教育の展開について報告がありました。

午後からは、国立研究開発法人産業技術総合研究所ロボットイノベーション研究センターサービスロボティクス研究チーム 研究チーム長 松本 吉央様と東京理科大学工学部第一部機械工学科教授 小林 宏様を招き、「生活支援ロボット・介護支援ロボット」「ロボットスーツ」の講義や実演が実施されました。県内の教育関係者や介護施設関係者など、約40名程度が参加し、有意義な研修の場となりました。



産業教育フェア(10月)

平成27年10月17日(土)、18日(日)に、千葉市のイオン幕張新都心グランドコート・グランドスクエアで「平成27年度千葉県高等学校産業教育フェア・ものづくりフェア」が開催されました。福祉教育部会からは、鶴舞桜ヶ丘高校、君津青葉高校、船橋豊富高校、松戸向陽高校の4校の生徒約20名が参加し来場者にハンドマッサージや福祉レクリエーションを体験していただくとともに、キッズタウンでは小学生がハンドマッサージに組み込みました。



第1回授業研究会(10月)



平成27年10月29日(木)に「平成27年度千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会第1回授業研究会」が松尾高校で開催されました。当日は、県教育庁企画管理部県立学校改革推進課 副主幹 蒔 三佳 様にもご出席いただきました。午前中は平成27年から平成31年までの5年間、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール (SGH) として指定されたことについて、松尾高校 齋藤 伸之校長より報告がありました。また、城西国際大学福祉総合学部教授 増子 勝義 様より「北欧の高齢者福祉」についてご講演をいただきました。



午後は、会場校の1年生の総合的な学習の時間「SGHの報告」についての授業見学をしました。クラス内でグループを作り、「山武市魅力化プログラム」という題材で、パネルを作り発表するなど、素晴らしい報告でした。参加した福祉教育部会の先生方も多くのことを吸収することができました。

第2回授業研究会(11月)

介護実習報告会

事例概要

生活歴

- ・Aさん、70代女性
- ・24歳で結婚、一男二女をもうける
- ・人と関わることを好む
- ・病気をしてから、自宅からあまりでなかった



Aさんの状況

- ・要介護3
- ・日常生活はほぼ自立
- ・移動は車椅子を使用

今後も車椅子生活がしたいと語る利用者のための移動、歩行の助成と課題について

千葉県立松戸高等学校
【福祉教育科】
2015年度 卒業 卒業



平成27年11月30日(月)午後、「平成27年度千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会第2回授業研究会」が松戸向陽高校で開催され、福祉教養科3年生の介護実習報告会を参観しました。6月と10月に実施した施設介護実習での課題についてのまとめの発表でした。参加した福祉教育部会の先生も熱心に報告を聞いていました。

福祉教育部会研修会(12月)

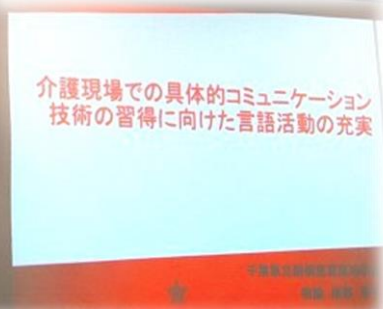
平成27年12月25日(金)に「平成27年度千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会研修会」が松戸向陽高校で開催されました。午前中は、松戸向陽高校 清水 弘恵教諭から「平成27年度高等学校産業教育関係教育課程研究協議会担当指導主事連絡協議会」について、同校 河上 隆広教諭から「平成27年度産業・情報技術等指導養成研修」の報告がありました。

午後からは、千葉商科大学人間社会学部 学部長 朝比奈 剛様を招き「高大連携プログラム」についての講演や、キューピー株式会社東京支店家庭用営業五課 課長 前田 寿和 様から「介護食の最新事情」について、講義をいただきました。参加された方々は、興味深く話を聞いていました。また、試食も用意していただき、「介護食の最新事情」を体験から学ぶことができました。



千葉県産業教育連絡協議会(1月)

平成28年1月27日(水)に千葉県農業大学校を会場として、千葉県立産業教育関係高校連絡協議会の研究協議会が開かれました。福祉教育部会からは、船橋豊富 畑野 早子教諭が発表を行いました。





学校紹介：千葉県立小見川高等学校

本校では、平成27年4月より「福祉コース」を開設いたしました。普通科の中にあり、2年生からコースに分かれて学びます。福祉コースは定員20名で介護職員初任者研修修了の資格取得を目指しています。

2年生で週4時間、3年生で週6時間の講義を行います。地域との連携を密にした「福祉コース推進連絡協議会」を設立し、大学や専門学校、さらに高齢者福祉施設や障害者福祉施設、社会福祉協議会などの機関が「高大連携」「高校・専門学校連携」「地域連携」「進路連絡・支援」の役割を持ち、講師派遣と実習受入れの機能も持つ組織を作りました。この、福祉コース推進連絡協議会では年3回の総会を実施し、定期的に意見交換を行っています。

本校の福祉コース開設にあたり、講義室・実習室の全面的な改修工事を行い、充実した学習環境と種類豊富な教材や福祉用具を導入しています。

福祉人材の育成，地域貢献の必要性が求められる社会になり，小見川高校では福祉の学びを通じて，より福祉を身近な存在だと気付き，将来の社会を支えるリーダーの育成を行いたいと思っております。



高大連携授業



外部講師とのティームティーチング



実習の様子
「衣服の着脱」



講義室



講義の様子



実習室